

『童貞を殺すお花屋さんの搾精庭園』

<シーン1>

(柵、ギギー、ガシャンと閉まる)

ようこそ、私のプライベートガーデンへ。
よく、私が勤めているお花屋さんに来てくださっていたので、
あなたとは、いつかご一緒できればなあ、と思っていたんです。

こんな夜遅くにお呼び立てしてしまい、申し訳ございません。
でも...あなたも私と、
こうして、
秘密の場所で会いたかったのではないですか？

ふふふ。
あ、まだお名前を言っていませんでしたね。
私は、さつきと申します。
気軽にさつき、と呼び捨てにしていいただいても構いませんし
さっちゃん、とフレンドリーな呼び方でも構いません。
お好きなように呼んでいただければ、と。

では、こちらへ、どうぞ。
庭園の奥まったところに、
少し、開けた場所があるんです。

(歩きながら)

コスモス...秋の桜。
それと...
こちらはバラの一種、
シャルルドゴール
マジョレット、
ヘレントレーベル、
淡いピンク色に染まっています。
ちょうど、見頃です。

ええ、私、お花が好きなんです。
でも、今、私が育てている鉢植えの花は少し特殊で...
「童貞さんの精液」でしか、
花を咲かせることができないのです。

ええ。
だから、童貞さん。
あなたのことですよ。

え？

なんで童貞さんだってわかったか？ですか？

ふふふ。

そんなの見ればわかるでしょう？

シワシワの服、

ボサボサの頭、

貧弱そうな体、

日の光を浴びていない、

なまっしろい肌の色、

どうせ、家でシコシコするくらいしか楽しみがなくて、

そのイカ臭い童貞オチンポさんから

ザーメン、無駄にティッシュにぶちまけているんでしょ？

ふふ...ひひひ。

あ、ごめんなさい。

本当のことを言ってしまいました。

...でも、ちょっと喜んでますよね？

んふう（満足げ）...だから、特別。

今日は私を使って、たっぷり、ザーメン出していいんですよ。

私とHしたかったんでしょ？

童・貞・さん。

ふふ...。

こちらです。

中央にベッド...遮るものはありません。

ここでなら、開放感に溢れたエッチができます。

安心してください。

ここは屋敷の私有地なので、誰も入ってきません。

都会の喧騒を離れて、静かな心になりたいときは、

ここをよく利用するんです。

月明かりも綺麗ですし...

ほら、みてください。

...月は綺麗ですか？

もちろん、月の光や、野鳥、花々には見られてしまいますけれども。

興奮するでしょう？

じゃあ...ゆっくりと、服を脱いでください。

恥ずかしいですか？

ふふ、だから、誰もきませんってば...ふふふ。

上からゆっくり...そう。

下も...まずは、下着だけになりましょう。

...。

ありがとうございます。

ふふふ...じー（凝視）...じー...じ〜〜...（凝視）

ふふふ、もう少し、興奮されていますね。

ああ...誰もこないはずですが、

もしかすると、屋敷で雇っているメイドが、巡回にくるかもしれませんね...。

イケナイことをしている現場を抑えられてしまうかも...。

ふふふ。

ジョークです。

...えっと、先ほども申し上げましたが、

よく、うちの花屋に来てくださっていたので、

実は目をつけていたんです、あなたのこと。

あ、もちろん、花よりはむしろ...

私の「童貞を殺す服」に興味を持っていたといいますか、

熱い視線を感じたものですから、ふふふ...。

たとえば、

乳袋からこぼれ出る、私の豊満なおっぱいを、

背後から鷺掴みにしてみたい...とか。

うふふふ！

全身がブルルッ！って、

言葉だけで反応しちゃいましたね。

私が見込んだ通りの童貞さんですね！

（凹むあなた）

（慰め）ああ...そんな顔をしないでください。

...ずっと劣等感だったんですよね？

自信が持てなくて、何をしてもうまくいかない。

責任転嫁して、本質に気づけない。

でも、それで、いいんですよ。

劣等感が強ければ、強いほど

いいザーメンが取れるんですから...ね。

じゃあ、そろそろ...始めましょうか。

たっぷり気持ち良くして、あ・げ・る。

<シーン2>

それでは...横になって、ゆっくりと目を閉じてください。

安心してください...私がリードしてあげます。

大丈夫。

童貞殺し経験豊富な、童貞ソムリエにおまかせください。

まずは、頭をなでなで～。

なでなで、なでなで...

ふふ...言葉に出さなくても、わかりますよ～。

意識じゃなくて、無意識が潜在的に求めている、

人に褒められたい、慰めてもらいたって。

よしよし。

えらいえらい...。

安心していいんですよ。

ここには、私とあなたしかいないんだから。

よしよし。よしよ～し...。

ふふふ...かわいいですね。

エッチするにも、信頼関係が必要でしょ...？

それに、なでなでしてもらっているだけなのに、

胸の鼓動が早まってきたみたいですよ？

体温も徐々に上がってきていますね。

それと、下の方も...ピクピク動いているのが見えますよ？

恥ずかしい？

恥ずかしいけど...たまらないんですよ？

ふふふ。

興奮しているのは、この庭園に蔓延している

匂いの所為でもあるのかもしれませんがね。

ゆっくりと、...匂いを嗅いでみてください。

すー...（大きく鼻で息を吸い込む）ふうう...（ゆっくり吐く）

土の匂いと、

雨水の匂い、

花の匂い...

それと...「栗の花の匂い」

少しだけ、媚薬効果のある芳香剤が、混ざっているんです。

この秘密の庭園（ていえん）の匂いは、

初めての方には少し強いかもしれませんが...
徐々に快楽に変わっていきますから、ご心配なく。
...気持ちよすぎて、そのうち、気が狂ってしまうかもしれませんね。

じゃあ、次は...
もっと気持ちいいこと。
たとえば...キス。
ちゅー。
唇と唇を重ね合わせて、ちゅー...って。
童貞さんは、初めてのチュウもまだなのでしょうか？
...かわいそう。（嬉しそうに）

じゃあ、私を、見つめてください。
私の、潤んだ、ぶるぶるの唇...
手を出してください...ほら、こうやって、人差し指で触ると...
ぶるんって弾かれて、柔らかいでしょ？
あなたの唇で、味わってみてください...。

じゃあ、いいですよ。しましょ？
チューって。
...（近づく）
（囁き）ドキドキしてますね。
（囁き）破裂しちゃいそう？
（囁き）行きますよ。
ん...

（キス）ちゅ
ちゅ、ん、ちゅ、...ちゅ。

ん...どうです？気持ちいい？
柔らかいですか？プルプルって。唇。私の唇。
とろけちゃうくらい、いっぱいキス...ん、（ちゅ）、しましょ...。

（キス）ちゅ...
ん、ちゅ、、ちゅ...んんむ、ちゅ、ちゅッ、んむ、ちゅぶ、ちゅぶ...
んはあっ、んー...ちゅ、ちゅ、ちゅっ。好き、ちゅ、ちゅっ、キス、好き。ん。
...ちゅ。ちゅぶ。んむ...

あ、熱い。息荒い...ふふ。かわいいです。ん、ちゅ...。

はあ...私も...熱くなってきちゃいました。
ん、ふふふ、手が震えていますね。
私からの一方的なキスで手持ち無沙汰...って感じでしょうか。
いいんですよ、触っても。

どこを？って、ふふふ、決まっているじゃないですか。

(手を引き寄せて)

ここ...

フリル付きのブラウス、

乳袋に覆われた、豊満な...柔らかくておいしそうな...おっぱい♥
触り方がわからないなら...手を貸してください。

こうやって...ん。

モミモミ。

モミモミ...ゆっくり、モーミ、モーミ...

円を描くように、ん、そう、モミモミ、モーミモミ...。

ん、ふう...

どうです？服の上から、おっぱいを揉む感覚は？

ずっとやってみたかったんですね？

モーミモーミ、

モーミモーミ

ゆっくり、モーミモーミ

モーミモーミ...

そう、そんな感じ、です。

ん、ふふ、

柔らかいおっぱい、揉みしだきたいって...顔をうずめたいって。

フリルのひらひらに頼ずりしたい、

固いボタン、ペロペロ舐めたい...

服の上から乳首探し当てたい...

もっと、もっとしたい...！

モーミモーミ、

モーミモーミ、

モミモミ、モミモミ、モミモミモミ...

あっ、ちょっと！

やだ、興奮しちゃったんですか？

そんなに顔うずめちゃダメ...ですう、っ。

あ、ああっ、息荒くて...ふふふ、そんなに嬉しいんですか？

じゃあ、もっと揉んで、顔をうずめてください。

それであなたが気持ち良い射精ができるのであれば、

たっぷりお手伝いしてあげます。

ん、んっ、ふううっ...

たどたどしい、けど、その、リズム...んっ、ふう。

はい、モーミモーミ、顔をうずめて
モーミモーミ、おっぱいの感触、むさぼるように味わって...ん、そう。
はい、モミモミ、ふふふ...
モミモミ、モミモミ、モミモミ、モミモミ、モミモミ...

はあはあ...ふふふ、じゃあ、
そろそろ私にもさせてください。

シャツをめくり上げて...
お医者さんゴツコみたいに...ふふ。

よ、と。
ん、ふふ、へえ...

プク～って、もう「童貞乳首」勃起していますね。
女の子みたいに。

触ってほしいですか？
触ってほしい？

じゃあ、乳首の周辺から...さわさわさわ～...でも、乳首はまだ触らない。
さわさわさわ～...
さわさわさわ～...
もどかしい、乳首も触ってほしい、
でも、まだ触らない。

次に、乳首の周りを、
両手の人差し指でくるくる～、
くるくる～...
くるくる～...

ああ、もどかしい、乳首も触ってほしい。でしょ？
でも、ダメです。
ねえ、ほら...、勃起乳首がさらに勃起して破裂しそう。
乳首で射精しちゃうそう。
オチンポも触っていないのに、
もう張りきれそうなくらい盛り上がっています！
くるくる～。
くるくる～。

ああ、もどかしいっ。
男なのに勃起乳首から白いの漏れちゃう！
漏れちゃうそうでしょ？
ね。同じ。私も...漏れちゃうそうなんです。
乳首触ってほしい...。

...みてください。

（ボタンを外し胸元をはだける）

私のピンク色の乳首も勃起してるでしょ。

勃起乳首、あなたの童貞乳首と同じで興奮して、

私も、乳首ミルク、ん、漏れちゃいそう、破裂しそう...です。

指でくるくる～、

くるくる～。

くるくる～。

まだ触っちゃダメですよ。

くるくる～。

くるくる～。

くるくる～。

くるくる～。

ふふふ、もどかしい気持ちが、

乳輪を通して指伝いに伝わってきました。

じゃあ、そろそろ...。

（至近距離）硬くなった私の乳首で、

（至近距離）あなたの童貞乳首をツンって、（ささやき）触ってあげる。

私のピンク色の勃起乳首と

コリコリ勃起乳首が、

コリコリーって慰め合うの、想像してください。

きっと、とっても気持ちがいい、ですよ...んっ。くう。

ほら、くるくる～、

くるくる～、

少しずつ近づいてきます、

私の乳首とあなたの童貞乳首。

10センチ。

...5センチ。

...3センチ。

2センチ、

1センチ...

ん、くううっ...！

あ、ふうう、コリコリって、んっ、

童貞乳首コリコリ、って

当たる、当たります！

私の乳首！

コリコリって、ふっくう...ん。

コリコリ...。
ん、ダメ、気持ちいい...です
コリコリコリコリ...
コリコリ、
んんんふうん、もっと触って、気持ちよくなってください...
んっ、くはっ。
コリコリ、コリコリ...
いい、いいですう...んああっ、
勃起乳首、気持ちいい...です！

はあはあ、気持ちいいんですね...
顔が快感で歪んでいますよ？
もっと気持ちいい顔見せてください。
おっぱいの柔らかさも感じてください。
ふにふに、って当たってるでしょ？
乳首とおっぱいと、コリコリでふにふにで、
んっく、気持ちいい...！

え？乳首だけでイっちゃいそう？
もう射精（しゃせい）しちゃいそうなんですか？
ずっと焦らしていたから、
気持ちが先走っているんですね...。
でも、ダメですよ...
私がいいと言うまで、射精してはダメです。

コリコリ、コリコリ...
ほら、乳首だけでオチンチンミルク出ちゃうんですか？
気持ちよくなっちゃうんですか？
コリコリ、
ふにふに、
コリコリ、
ふにふに...

童貞おぱんつの中に、気持ちいいおもらししちゃいそうなんですか？
オチンチンには触れないで、乳首だけコリコリされながら、
オチンチンだけ射精なんて...ふふふ

コリコリ、
ふにふに、
コリコリ、
ふにふに...

手でシコシコしないで射精しちゃうなんて、
まるで夢精みたいですね。

夢精ってすごく気持ちがいいんですよね。

夢精しちゃいたいですか？

...ふふふ...しょうがないですね。

じゃあ、カウントダウンだけはしてあげますね。

カウントダウン「だけ」ですからね...

私が出していいというまで、絶対に出してはダメですよ？

ふふ...

さあ、全身の快感が乳首とオチンチンに集まってきました。

コリコリ、

ふにふに

我慢できない。

イきそう。

コリコリ

ふにふに

タマタマから白い液体が先っぽの方に集まってきました...！

ドクドク脈打って、今にも破裂しちゃうそう。

すごい量の精子、溢れ出しそう。

精子ぴゅぴゅーって、出したくて出したくてたまらない...！

ほら、もういく、

イっちゃう！

もう少しで、気持ちいい精子たくさん出てきちゃいますよ？

あと10秒。

9、気持ちいい、気持ちいい精子。

8、

7、

6、ああ、気持ちいい...

5、

4、

3、

2、

1...

...。

1...1...

...。

はい、ストップです。

まだ出しちゃダメですよ。

ストップです...。

...。

ふふふ...私に寸止めされてピクピクしている童貞オチンポさん。
童貞おぱんつも、我慢汁で女の子みたいにエッチな染みができていますね。

イキたかったですか？
ふふ...残念でした。
でも、我慢すればしただけ、
もっと気持ち良くぴゅっぴゅできるから...
ぴゅっぴゅ、
ぴゅっぴゅって、
もっと気持ち良い射精するために、
今は我慢なんですよ。

これからもっと...
もっともっと、もーっと。
たっぷり搾りとりますからね♥

<シーン3>

それでは、この我慢汁で濡れ濡れの童貞おぱんつ...
よいしょ...（脱がす）
おしめを替えてもらう赤ちゃんみたいです...
ふふふ、恥ずかしそうな顔...ふふふ。

童貞おちんぽも興奮してピクピクしてますね。
ふふふ、もっと興奮していいんですよ。
何度でも、何度でも、
たくさん、
いっぱい、
気持ちいいことしたいでしょ？

じゃあ...今度は「お口で」してあげます。

あ！また、ピクって。
ふふ、かわいい...童貞オチンポ、ピクッツピクッて、喜んでいます。
そんなに私のお口でもらいたかったんでしょうか？
私のお口が好きなんですね？

ふ～ん。
じー...じー...っ。
見つめられると恥ずかしい？オチンチンくん？
ふふふ。
じゃあ、オチンチンくんとキス...しちゃいますね。
...。
ちゅ。

...あ。

また、ピクってなりました。

かわいい、ふふふ。

さーて、オチンチンくんのお口はどこでしょうか？

んー、ちゅ。ちゅっ。

竿の下のほうから、ん〜、ちゅ。

右側、ちゅっ。

左側も...ちゅぷ。

カリ首、ちゅぷちゅぷ、ペロペロ...

裏筋も...んー、ペロペロ...。

あ！いい反応。

ここが気持ちいいんですね？

んー、ペロペロ...ちゅ、ちゅっ、

んむ、ペロペロ...。

ふふふ、仰け反るくらい気持ちいいんですね...

じゃあ...もっとしてあげます。

んっんっ、ちゅ、ぶちゅ、んっ、ちゅっちゅ、ペロペロ...

んはあ、竿周りを一周...ぺろぺろぺろぺろ...、

じゅぶ、じゅぶ。

んっ、お口に入れちゃう...。

あーんむ...ん、んふ、んー、

じゅるじゅる...ぎゅぽぎゅぽ、じゅるるる...んはあっ。

気持ちい？

あは。気持ちよさそうです。

もっと、いっぱいしてあげます。

唾液、いっぱいためて。

っー...とろーり。

あ、唾液だけで、ビクビクビクウーッって...また出そうになっちゃった？

ふふふ〜、まだダメですからね。

我慢したほうが、もっと気持ちよくなれるから。

我慢我慢。

んじゃあ、もう一度...あーんむ。

ん、っふ、、じゅぶじゅぶ、

じゅぽじゅぽっ、じゅ、じゅっ、んはっ、

オチンチン全体がヌラヌラ光ってて、

すごくエッチです...。

は、ん...む。

(フェラ)

じゅっぽじゅっぽ、ぎゅぶぎゅっぶ、
じゅるるるる、じゅっじゅっじゅ、
ん、っぐ、じゅぶじゅぶじゅぶじゅぶ、
ぎゅっぽぎゅっぽぎゅっぽ...
ん...。

(徐々に激しいフェラ)

ぎゅぶぶぶぶ、ばばっぶばば、
ぎゅぶぎゅっぶ、じゅるるるるる、
ぷはあ、

(下品にフェラ)

ん...じゅるるるる、じゅっじゅっじゅ、
ん、っぐ、じゅぶじゅぶじゅぶじゅぶ、
ぎゅっぎゅっぎゅっ、じゅばっじゅばっ...

ん、ふ、ほろほろる、わらしのおくひれ（とろとろの私のお口で）...

ん、はあ。

オチンチン溶けちゃいそう？

もっと、こうして...あ、んむ...

(バキュームフェラ)

じゅぶじゅぶじゅぶ...ぎゅばばばば、ぎゅぶっびゅびゅ、
んっばんっば、ぶぶぶぶばばばばば
んふう...
じゅるるるる、じゅるじゅじゅじゅぶっぶっ...。
じゅるるるる、じゅるじゅじゅじゅぶっぶっ...。
んんんん...んはあっ。

ふう、ふう...ちゅ、ん。

ふ、んふ、んふふ...

もう、熱くて、ガッチガチ...オチンチン、脈打ってる。

出したい？

射精したい？

もう我慢の限界？

大丈夫、まだ我慢ですよ。

だって、次はもっと気持ちいいところでじゅぽじゅぽしてあげるんですから。

え？気持ちいいところって言ったら...決まってるでしょ。

お・ま・ん・こ♥

ふふふ。

...ずっと、私のおまんこにこのオチンチンを入れたって、

思っていたんですね？
童貞オチンポでおまんこの中、
めっちゃくっちゃんにかき回したい...！

締め付けるあっつつーい、ひだひだに絡みつかれて、
精液どびゅどびゅーって、
子宮の奥にぶちまけて
膣内（ちつない）を思う存分味わい尽くしたいんですよねー。

でも、まずはこれです。
ゴムつけますね。
さっきはいいところで寸止めされちゃって残念残念...
（ゴムをつけながら）今度は、いっぱい濃いの出して大丈夫ですからね、っと。
はい、完了。

じゃあ...私もパンティーを脱いじゃいますね。
よっと。んしょ。（脱ぐ）
はい、おパンティー。
これも大好物なんですよ。
食べちゃいたいくらいに...。
本当に食べちゃいますかー？
ふふふ。童貞さんのお口に、おパンティー挿入～。
モグモグ、モグモグ～、って。
あはは、美味しい？
ねえ美味しい？
私のおまんこのお汁がたっぷり染み付いたおパンティー美味しい？
脱ぎたてほやほや、おまんこの匂いムンムン、
愛液で濡れ濡れのパンティー...美味しい。いい匂い。ふふふ。

それじゃあ...私が上になるから、
おまんこ、みてください。
ほら、くちゅくちゅ、って、指が...
トロトロのオマンコ汁でテラテラになっちゃってます。
みてください、糸引いてるでしょう...？
このヌラヌラが、次から次に、快楽で溢れてくるんです。
ヌラヌラのサーモンピンクが、
もう早くオチンチン食べちゃいたいって、
くばあああって
口を大きく開けています。
オチンチンも、もう完全に復活したみたいですし...
それじゃあ、入れちゃいますね。

（くち）
あ、今、オチンチンの先っぽが、おまんこの先端に

(ぐにゅ)

んん...ぬめぬめがオチンチンに絡みついて...

あっ、ん...

ゆっくり、ゆっくり入ってきます！

んっく、全部入りきるまで...

5、

4、

3、

2、

1、

んふあああ、っくう...！

は、入っちゃいました！

奥まで入っちゃいました...はっ、んんん、熱いです...、

ヌルヌルでじゅぶっじゅぶって、音...気持ち、いい。

んっ、どうですか？

私のおまんこ。

じっくり、味わってください。

(SE: ゆっくり、じゅぶ、じゅぶ、じゅぶ)

は...ん...くっ、んふう...

え？もう出ちゃいそうなんですか？

まだ入れたばかりなのに...

童貞オチンポだから、しょうがないですね。

でも、もうちょっと我慢しましょ？

我慢して我慢して...快楽が最高潮に達してから、

思っきり欲望をぶちまけるんですっ...。

ほら、こうやって直接...ん、っ、少しずつ、動くと...

んっ、はううっ...

ひだひだがオチンチンに絡みついて、熱い、とろけちゃいそう。

まだ、我慢ですよ。我慢...。

んっ、ジュップジュップ、音立ててる...

ん、んっ、んふっ、あっ、ああっ、

き、気持ちいいですか？

おまんこにオチンチン入れて、

かき回して、っく、ずっとシたかったんですよね？

んんっ、あっ、...ほら、また気持ちよさそうな顔！

今にも、快楽でおかしくなっちゃいそうな、

幸せで歪んだ表情！

じゃあ、もっと、ほら...少しずつ速度を速めますね...

(早めにじゅぷじゅぷっじゅぷっ)

あっ、私も、私もっ、気持ちいいっ、
あっ、んんんっ、
キス、キス、んっ、(キス音) ちゅ、ちゅぶ、ちゅっ、あはあ...
美味しい...もっとしたい。
ちゅっちゅっ、腰も勝手に動いちゃって、
あ、ダメ、いい...んんん、
ちゅっちゅ、んんんー、熱い。

熱いのがこみ上げてくる...
童貞オチンポもすごく熱い！
脈打ってるのが伝わってきます...！

ドクドクって、精子いっぱい先端に集まってきてます。
あ、っふ、ああっ！
み、水風船みたいにたぶたぶって、
ドロドロ精液...んっ、弾けちゃう。

私がっ、私の膈内で、全部吸い上げてあげますから...
ほら、がんばって、童貞オチンポもっと気持ちよくなって！
童貞オチンポもっと気持ちよくなってください！

じゅぷじゅぷって、
出し入れするたびに、徐々に快感度数が上がってきます！
私が口で言いますので、
そのペースに合わせて童貞オチンポ、ひだひだに擦り付けてください！
いきますね！

じゅぷじゅぷっ、
じゅぷじゅぷっ、
じゅぷじゅぷっ、
じゅぷじゅぷっ、
じゅぷじゅぷっ、
じゅぷじゅぷっ、
じゅぷじゅぷっ、
じゅぷじゅぷっ、
じゅぷじゅぷっ、
じゅぷじゅぷっ、

は、はいっ、そ、そうです...！そのペースで続けてください。

じゅぷじゅぷっ、
じゅぷじゅぷっ、

じゅぷじゅぷっ、
じゅぷじゅぷっ、
じゅぷじゅぷっ、
じゅぷじゅぷっ、
じゅぷじゅぷっ、
じゅぷじゅぷっ、
じゅぷじゅぷっ、
じゅぷじゅぷっ...！

あっ！ダメ、ほら、イっちゃう。
もっと、気持ちよくなって。
私もイ、イっく...！
一緒に！
一緒に！
射精まで10秒！

10、
9、
8、
7、
6、
5、
4、
3、
2、
1、
ゼロ！
ゼロー！

どぴゅ！
どぴゅーっ！
びゅくっびゅくっつ、どぴっどぴっ、
ああ、
どぴゅー、どぴゅ、びゅるるるるっ、びゅるるっ
ビュクビュクッ...
ああ、熱い精子、奥までじわーって、届いてる...
はあ、んんん...気持ちいい。

気持ちよかった？
顔、トローンってしてますよ？ふふふ...。
抜きますね。ん、っと。（抜く）
んしょ、んしょ...（ゴムを外す）わあ...白いのいっぱいです。
濃厚な童貞ザーメン...♥（嬉しそう）

すー...（鼻で匂いを目一杯嗅ぐ）ん、ツンとした匂いも、一番いい状態ですね。
童貞さんでいてくれてありがとうございます。
早速、鉢植えに...んしょ、んしょ...とろーりとろーり

...おいしい？
ねえ、おいしい...？
ふふふ...よかった。
とろーり、とろーり。
ふふふ...たっぷり、土の中に染み込んでいくの、
わかるでしょう？

綺麗な花を咲かせてね。
私のために、ね。

<シーン4>

さて、と。
脱童貞おめでとうございます。
これで少しは自信がついたのではないのでしょうか？
ずっと劣等感だったんでしょう？
ふふふ...少しでもお手伝いができたのであれば、私としても本望です。

え？でも、童貞じゃなくなったら、
もう自分は用済みなんじゃないか、ですって？

ええ...そうですね。
鉢植えの花は童貞さんの精液でなければ、育ちません。
でも、今のでほら...

花が咲いたみたいですよ。
みてください。

...。

ねえ。とても、きれいな花...
すー（匂いを嗅ぐ）...ん、とてもいい匂い。
あなたのおかげです。
童貞さんでいてくれてありがとうございました。
ふふふ。うふふふふ。

あ、それから...言い忘れていたのですが...
...実は私、
「実（み）」も好きなんです。
花が咲いたら、次は果実が実りますよね。

ふふふ。

もうおわかりですね？

この花の果実は少し特殊で...

「童貞を捨てた人の精液」でしか、
実を实らせることができないのです。

....

あ、まあ、ちょっと無理があるかもしれませんが...

えーと、コホン♥

とにかく、私と二回戦できるんだから

素直に喜んでください♥（可愛くごまかしてください←）

ということで～、

（近づいて）ねえ。

ほら、みてください、私のここ。

....

にゆるにゆるって...触っていないのに、自然に蠢（うごめ）いています。

このお花みたいに、すっかり花開いてしまっていて...

オチンポたまらないんです。

もっとぎゅっぽぎゅっぽ、って貪り（むさぼり）尽くしたいんです。

ふ、ふふ....

今の言葉だけで、

「脱童貞オチンポ」また勃起してきちゃいましたか？

ふふふ...

ぴゅっぴゅ、ぴゅっぴゅ、どぴゅどぴゅ、ぴゅぴゅー、

ぴゅっぴゅ、ぴゅっぴゅ、どぴゅどぴゅー、って。

また、タマタマに精液が集まってきましたね。

もっと、ぴゅっぴゅしましょう？

ぴゅっぴゅ、ぴゅっぴゅ、どぴゅどぴゅ、ぴゅっぴゅ。

ぴゅっぴゅ、ぴゅっぴゅ、どぴゅどぴゅ、ぴゅっぴゅ...

あっ...そこは、っンク、勝手に！

また勝手に興奮して...もうっ♥

あっ、舐めるなんて...やめてくださ、あ、っ弱ィ、

ダッ、おまんこ、おまんこ...ひいん、クリトリス...弱い、もっと...んん。

あうう、んっ、いいです♥

そう、そんな感じで、

はっ、ひゃうっ、だんだんよくなってきます...！

あっ、んっ、好き、です、
んっ、もっとねっとり...時間をかけて。
たっぷり、おまんこ、ペロペロしてください。
ふ、あっ、あっ、んんんん...
あ、おっぱいも、乳首も一緒に、弄って、
ああああっ♥三点責め、クリちゃんと乳首と、コリコリ弄られて...うまいです♥

はあはあ...
今度は、あなたが好きなように、動いてください。
本当に気持ち良くなれるように...自由に。
(真剣) 欲望のままに。

...ん...
はうっ、んん、いい、ですよ？
あ、っく、そう、そ、そう、です...！
ひんっ、く、はあ、あっあっあっアッアッアッアッ...♥
指で、指で弾くと、ピンッピンッって...
電気が走ったみたいになるんです、おっぱいから全身に向かって、あああっ♥

クリトリス、クリトリスも頭の中、白くなっちゃうんです、
舌先でコロコロ転がされると、ひゃうっ、んっ♥
それ、それいいです！いい！
異次元の気持ちよさです...あううん、すごいです！！

わ、私もオチンポ、おしゃぶりしたい...体制を変えて...ん、っと。
はああ、オチンポ...オチンポ、
皮被ってて、あんまり使っていないくてクッサイの...
さっき出たばかりの精液でオチンポヌラヌラです...

は、んっ、ピクピクって、まだまだ元気いっぱい...
はん、む。んっ、ぎゅぶ、ぎゅっぶ、んー、んむ、ぶはあっ、
口の中がザーメンの味でいっぱい...匂いも、すごい...です。
んっ、もっと、もっと...たっぷりしゃぶってあげますね...。

んっ
ぎゅっぶびゅっぶ、びゅぶぎゅっぽぎゅっぽぎゅ、
ちゅぶ、ん、んんっ、
オチンポ♥オチンポ♥
ちゅぶぶぶ、ぢゅぶぶぶぶぶぶぶ、
ちゅ、ちゅぶ、っ、固い、熱い...ンハアッ、
びゅぶ、ぎゅぶ、美味し、ぎゅぶ、美味しいの♥
ぶぶちゅぶ、ぢゅぶ、ぢゅぶぶぶぶっ...オチンポオオ♥んんんんっ♥♥

んはあっ...

はううう、舌先がもどかしいですう...
ま、また、入れてほしい、、
今度は、直に、な、生でオチンポ、
そのままおまんこの中に入れてください...！
ザーメン、欲しい、お腹の奥のほうが疼いてるの...
オチンポ、生で欲しい！
ぐちょぐちょのおまんこの中でいっぱい出してください...！

タマタマもがんばって精子いっぱい作ってる...
どんどんタマタマも固くなってきてるんです...
いっぱい、気持ちのいいところで出したい、って悲鳴を上げているのわかります...！

んっ、早く、もっと、欲しい！
...はあはあ...き、きてください。
そのまま。
もう少し下...そう、そのまま、そのままゆっくりと、入ってきてください。
私の膣に。

...ん。そう、ゆっくり、奥まで、ゆっくり数えてあげますね。
子宮口まで10秒...

9、先っぽが入ってきました...
8、オチンポのカリ首が徐々に飲み込まれていきます
7、カリ首が飲み込まれていきました、気持ちいい、気持ちいい
6、トロトロの愛液で、力を入れなくてもズッと、入っていく
5、半分くらい入ってきました、あともう少しです
4、ああ、奥に近づいてきた、気持ちいい！オチンポとろけそう！
3、もうほぼ飲み込まれている状態です、さらに奥へ侵入
2、おまんこのひだひだもオチンポの侵入を後押ししています、頑張って！もう少し！
1、ああ、もう直ぐ届きます！届いちゃうー！
0！！

んっ♥はあはあ...奥まで、きちゃいましたね...♥
オチンポの先っぽがコツコツ当たっています...
ん、そのまま、自由に動いてください、やりたいように...自由に！

(ゆっくり動き始める)
はっ、あっ、ふっ、あああっ、気持ちいい♥
気持ちいいです♥
あああ、おまんこ気持ちいい♥
すごい♥欲しかった、欲しかったの、これが欲しかったの！！
あああんっ♥ゴムをつけている時より百万倍気持ちいいです...！

はあっはあっ、んっ、精子、出ちゃう？出ちゃうんですか？

ダメですよ...まだ、もっと、んっ、もっと気持ち良くならないと、
もっと気持ちよくなって、限界を超えて気持ち良くなりましょう...！
おまじないです...

オチンポ、もっと、気持ち良くなる...

もっと気持ち良くなる...！

でも、まだ射精はしません！

もっと気持ち良くなる、もっと、もっと気持ち良くなります！

タマタマが精子を暴発するくらいまで...タマタマが上がってきます。

少しだけ、出ちゃう、少しだけ。

1滴、2滴...でも、まだダメ。

その1滴を我慢しないと、

あとからあとからドピュドピュッて止まらなくなっちゃう。

もっとたくさん作って、私のおまんこ、

あなたのザーメンで満たしてお腹がたぶたぶになるくらい、

気持ち良くなっちゃってください！

もっと刺激を、ふっ、んっ、んあああっ♥♥

(さらに早くなる)

あ、あっあっあっああああっ♥早、んっんっんっ...そう！

もっと、欲望のままについてっ、く、くださいっ！

あ、あぐうっ、深い、深いところ、きてる！

きてます！

ひんっ、あうう♥嬉しい、嬉しいっ、気持ちいいっ♥

いい♥♥

精液いっぱい、いっぱい欲しい精液！！

私の恥ずかしいおまんこ...おまんこ穴の中に、

白くてドロドロの、めちゃくちゃ濃くてクサイザーメン！

ビクビクって痙攣して

頭がおかしくなっちゃいそうなくらいの快感と一緒に

吐き出しちゃってください...♥

はうっ、ひいいっ、ああああっ♥

んっ、ああ、気持ちいい、

ぢゅぶぢゅぶ、ぢゅぶぢゅぶって、

膣壁（ちつへき）が擦れる（こすれる）たびに脳髄に走る、快感...

電気が走ったみたいに白くて、ああああっ、イツ、イイ...♥

イツ♥ン♥アッアッアッ♥

ひい、ン、ツク、イツ、イツ♥アッアッア...♥♥

いっ、イっちゃいそうですか？

わ、私も、そろそろ、ツ、気持ちよすぎて...

おかしく、なっちゃいそう...

アッアッアッ、犯してっ、

たくさん犯してえんんんん！！！！

もうちょっと？もうちょっとなんですか？

私も、もうちょっとでイ、イキそう...待って、一緒に...一緒に...！

（かわいく）一緒にイこ♥

一緒にイキたい...あっ、んっ、そこっ、そこっ、痺れて...！

そう、もっと、集中的にっ、がんばって♥

んんんっ、ああっ、ビリビリって、

じゅぷっじゅぷって...精液、いっぱい、精液でオマンコ、いっぱいにして...♥

射精して、射精しよ？

たっぷりたぶたぶになるまで

ぬめぬめにゆるにゆるザーメンで満たしてください！

私もイ、イっちゃいます。

一緒に...カウントダウンです！

10、タマタマが射精の許可を得て、オチンポの先端に精子を運び出します

9、ぐーっとあがってきます。ぐーっと！精子、、溢れそうなくらいの精子

8、腰のグライドとともに、んっ、おまんこのひだひだもオチンポを応援

7、がんばってがんばって♥いっぱい気持ち良くなる？おちんぼがんばって♥

6、じゅっぶじゅっぶ、じゅっぶじゅっぶ、じゅっぶじゅっぶ...

5、じゅっぶじゅっぶ、おちんぼが無意識でおまんこの気持ちいいところをさがしてじゅっぶじゅっぶ、じゅっぶじゅっぶ！

4、おまんこもおちんぼの気持ちいいところを探して意思を持ち始めます、絡みつく膣壁（ちつへき）

3、射精感が高まってきました。あと2秒、想像するだけで快樂でおかしくなりそう

2、2秒！あと少し！ギリギリまで射精感を高めて最高に気持ちいいのだしちゃいましょう

1、あああ、もう、出ちゃう♥恥ずかしい射精、止まらない、気持ちいいのが上がってくる

♥

ゼロ！

ゼロ！！

どびゅっどびゅどびゅどびゅ！

びゅっびゅっ、どびゅどびゅっ！

びゅくっ、びゅるびゅるびゅるっ、

すごい、まだ、出てる...

びゅるびゅるっ、いっぱい我慢したから...

びゅりゅりゅりゅ...りゅっ、びゅるっ、ぴゅっ...。

...はあ...はあ...はあ...。

...。

ふふふ...。

？なんでもないですよ。ふふふ。

もしかすると、今までで一番いい童貞さんだったかもしれませんね。

<シーン5>

(後日、お花屋さんでの会話)

いらっしゃいませ。

ふふふ、また来てくださったんですね。

ありがとうございます。

今日は、どれになさいますか？

キンモクセイ。

シクラメン。

マリーゴールド。

それとも...私？

ふふ。

ジョークです。

でも...ご希望とあれば、

いつでも私のプライベートガーデンへお越しくださいませ。

種が撒かれ、

芽が出て、

花が咲き、

実がなって、

また、種が撒かれて...延々と繰り返される営み。

今夜も月明かりのした、

あなたをお待ちしております。

<完>